

受験番号 J123456 高尾 拓也 中国語からアジアを見る

高校時代の友人で、中国人の祖先をもつ友人と仲が良く、彼の家に行くと中華料理をごちそうになり、いろいろな中国文化に接し、中国に興味を持った。

ノンフィクションを読書することが趣味で、「フィリピン新人民軍従軍記」という本を読んだら、日本人留学生がひょんなことからゲリラに同行した記録で興味深かった。そこからフィリピンに興味をもち、作者の野村進先生の経歴を調べると、拓大国際学部にも所属し、国際学部にも興味をもった。

・ 野村 進『フィリピン新人民軍従軍記』講談社、2003年

大学では中国語を学び、仕事で使えるくらいの語学力をつけたい。中国にも留学をしてみたい。

中国だけではなく、中国の影響にある・関係の深い香港、台湾にも訪問してみたい。

また、中華系の人が多く住むという東南アジアの国々にも行ってみたい。

そのようなことを学ぶために、国際学部では国際文化コースに入り、語学はもちろん、文化についていろいろな面から学んでいきたい。

ゼミナールでは、自分が拓殖大学国際学部を知るきっかけとなった、野村進先生のゼミナールに入り、中国だけではなくアジアについて学んでいきたいと思う。

大学卒業後は、ばくぜんとして中国に関係する仕事をしてみたい。

中国や中国人を相手にする仕事もあれば、自身が中国に駐在して仕事をする事にもチャレンジしてみたい。